

(件名) 鹿児島県新総合体育館の建設場所についての陳情書

(陳情の要旨)

私ども屋内スポーツ競技団体は、既存の県体育館の現状が狭隘で施設や設備も老朽化しているため、九州・全国・国際規模の大会に対応できない状況にあり、一刻も早い屋内スポーツの拠点となる県総合体育館の新設を長年にわたり県当局、県議会さらには県民の方々に訴え続けてきました。

これまで数回にわたって県当局から候補地が示されるにも実現可能な状況に至っておりません。

昨年6月、三反園知事が鹿児島中央駅西口の県工業試験場跡地を新総合体育館建設予定地とする旨の発表があり、それを受けて私ども県屋内スポーツ競技団体で協議した結果、建設予定地に賛同いたしました。

しかし、今年の9月議会において、鹿児島中央駅西口の工業試験場跡地については、諸般の事情により見直しをすとの発表があり、新たな候補地として、県有地である県庁東側と谷山農業試験場跡地が示されました。

新たな候補地について、今回、私ども屋内スポーツ競技団体で協議した結果、県庁東側に建設していただきたいとの結論に至りました。

県庁東側を優位とする主な理由は、県内外から訪れる選手・大会関係者・観客の交通や宿泊、特に離島の生徒達の利便性、また、周辺地域は、本県スポーツ施設が点在しており、本県スポーツ施設拠点としての一体化が図られる、全国大会や国際大会など大規模な大会では、近隣に主会場と同等規模の会場が必要である等、総合的に判断した場合、県庁東側が最適であると考えます。

但し、施設の規模等については、平成23年に基本構想で示されたメインアリーナ棟、サブアリーナ棟、武道場棟(弓道場を含む)を是非確保していただきたいと考えており、県庁東側は県有地だけでは敷地が狭いため、民間所有の土地が確保されることが前提条件であると考えております。

県新総合体育館の建設は、来年のかごしま国体・全国障害者スポーツ大会には到底間に合わないが、これからの本県スポーツ振興を考えた場合、屋内スポーツの拠点となる新総合体育館が建設されることは、県民の方々、特に青少年の方々に大きな夢や希望を与えてくれるものと確信いたしております。

上記の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

記

鹿児島県庁東側に建設していただきたい。

但し、県有地だけでは狭いため民間所有の土地が確保されることが前提条件である。